

いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄

協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！

～ 集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ

各分科会のチラシが完成！

2014 全国協同集会では 21 の分科会を準備しています。それぞれにデザインされたチラシを見開きで紹介していきます。

「生笑一座 (いきわらいちぎ)」

協同集会実行委員である NPO 法人抱樸 (北九州ホームレス支援機構) 総務部長の江田さんと 11 月 22 日の特別企画である「生笑一座 (いきわらいちぎ)」の打合せを行いました。生きてさえいればいつか笑える日が来る一座という意味で元ホームレスの方たちがその経験を語り、ユーモアも取り入れてながら生きること、支えあうこと、命の意味をお伝えします。11 月 22 日全体会特別企画で披露します!!



どうなる TPP! 私たちの食・医療・暮らし



基調講演 鈴木宣弘 氏

東京大学大学院教授 / C 協研究所所長
1958 年、三重県生まれ。東京大学大学院農学生命科学研究科教授。
1982 年、東京大学農学部を卒業後、農水省に入省。2006 年より現職。著書に「TPP と日本の国益」「現代の食料・農業問題ー 誤解から打開へー」「食の戦争 米国の裏に落ちる日本」など、共著も多数。

本分科会のねらい
『米国の企業利益のためなら命や健康を守ることも一切許さない』という環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) が急速に押し進められようとしている今、私たちの暮らしや命について真剣に考えてみませんか。本分科会では韓米 FTA による韓国の現状からも検証してみたいと考えています。

パネルディスカッション 登壇者

山下悠一氏 農作家
米や麦などを栽培する傍ら、農業や農村をテーマに積極的な執筆活動を行っている。農業問題の論者としても知られ、環太平洋連携協定 (TPP) については、「1 次産業の削減につながる」「成長よりも安定、拡大よりも持続を求めよう」と反対の主張を展開。



岡崎 誠氏 福岡県産科保険医協会 事務局長
TPP (環太平洋経済連携協定) によって、多大な影響を受けるのは農業だけではないことは、周知の事になってきているが、具体的なことまでは理解されていません。交渉参加 9 国の中でもほとんどが日本のような皆保険制度はありません。医療格差を生む協定の締結に反対しています。



金崎哲也氏 日本農業新聞 記者
米津 FTA 初期から取材を進め、韓国における農業や医療、公共事業などの動向を報道し、新自由主義に懐疑され、ゆがた韓国の社会発展像を描き続けている。そこから、米津 FTA の拡大版である TPP の危険性を可視化している。



コーディネーター 島田圭一郎氏
日本労働者協同組合連合会 顧問
元日本農業新聞社社長



大津清次氏 船越風法人 無茶な園 社長
TPP は断固反対です。農業、食の安全、医療、食料などグローバル化され、一層格差社会が広がります。また、それ以前の問題として、自立できる農業、田舎を農民、農村が主体的につかっていかなければ崩壊するでしょう。米津から自立へ、今農業、農村は自ら立ち上がらなければいけません。



「いま、『協同』が創る 2014 全国集会 in 九州・沖縄」
11 月 23 日 (日) 10:00~15:30
会場: アクロス福岡 7 階 大会議室
実行委員会事務局 電話 092-441-7587
e-mail: kusu-event@roukyou.jp
ホームページ: http://kyodo2014.roukyou.jp/
担当: 暁平 (はしから)・飯沼 (いひなま)
お問合せ

いま『協同』が創る 2014 全国集会 in 九州・沖縄 分科会

11 月 23 日開催
エルガーラホールで開催

第 8 分科会

社会的経済の担い手である日本のワーカーズ協同組合、韓国のソウル市社会的経済課、自活企業、韓国労協連が分科会を通じて、「仕事おこし」、地域づくりを「就労すること」を中心テーマに据えて交流する。

コメンテーター
北島 健一 (立教大学 教授)
キム ジョンウォン (自活政策研究所 所長)

コーディネーター
五石 敬路 (大阪市立大学 准教授)

記念講演
ジョン ジンウ (ソウル市社会的経済課 課長)

パネリスト
安武 博子 (ワーカーズコープタクシー福岡 理事長)
濱本 里美 (ワーカーズコレクティブネットワーク ジャパン 事務局長)
キム ヒュンスク (韓国地域自活センター協会 事務総長)
ソン インチャン (韓国労働者協同組合連合会 会長)

通訳
カン ネヨン (日本希望製作所)

日韓で 4 名ずつ、計 8 名が登壇して、日韓でクロストークを展開する。韓国からも多く参加者がこの分科会に参加する予定。日韓分科会として、是非多くの方の参加をお待ちしています。

日韓社会的経済プラットフォーム フォーラムづくりに向けて

作成: 相良孝雄
(協同総合研究所)

いま、『協同』が創る 2014 全国集会 in 九州・沖縄
協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！
～ 集まらんですか、語らんですか、平和尊び、生きる喜びを～

第 9 分科会

沖縄・水俣・福島をつなぐ ～ 国策に翻弄されない市民主体の地域社会を創る～

11 月 23 日 (日) 10:00~15:30
会場: アクロス福岡 1 階 円形ホール

【記録映画上映】
「種子たちの抵抗～国策の強制に抗う人々」
「水俣での 20 年」



水俣病、沖縄の米軍基地、原発。どのテーマも長い間、記録映画という方法で追いつけてきた。東京一極集中政策の犠牲を押しつけられた地域ばかりである。沖縄から日本がよく見える～という言い方がある。水俣ばかり、原発立地地域ばかり。東京から遠いというだけでマスコミが取り上げない民衆の怒りを広く伝えるために奮闘してきた。この経験を参加者に伝えることでマイノリティーに寄り添う眼差しを共有したい。

【コーディネーター】
高見 徳 (ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟)
【パネリスト】



西山正啓 氏 (映画監督)



知花昌一 氏 (平和運動家・反戦地主・僧侶)



花田昌彦 氏 (熊本学園大学社会福祉学部 教授)



仲兼久子 氏 (ワーカーズコープ・センター事業所名護地域福祉事業所ゆりの里 所長)

【お問い合わせ】
いま『協同』が創る 2014 全国集会 in 九州・沖縄 実行委員会事務局
住所: 福岡市博多区聖地 4-1-12 美井ビル 2 階 21 号 (ワーカーズコープ 九州・沖縄事業本部内)
TEL: 092-441-7587 FAX: 092-441-8281 E-mail: kusu-event@roukyou.jp

生活困窮者自立支援研究交流大会 in 関西学院大学

全国協同集会では、第2分科会でこの問題について話し合います。11月7日(金)「第1回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」前夜祭「熱烈対談・生活困窮者自立支援法ができるまで」が開催されました。制度創設に至る経過、実践追認型の法律であることなど大変貴重なお話を聞くことができ学ぶことの多い対談でした。11月8日(土)参加者1000人を超える熱気の中研究会は明日に続きます。

【各写真の解説】

左：共同代表の奥田知志さん(NPO法人抱樸理事長)懇親交流会の挨拶。(全国協同集会の共同代表でもいらっしゃいます)

中：宮本太郎中央大学教授×山崎史郎まちひとしごと創生本部事務局長代理。

右：11月8日付けの毎日新聞記事、同日発足の「生活困窮者支援全国ネット」の共同代表でもある宮本太郎・中央大学教授のコメント。



中央大教授

若年層や子どもへの貧困が広がるなか、生活困窮者自立支援法が8月、設立総会発行者の支援に当たってきたNPOや行政の関係者、研究者などが集まり、支援の方法や経験を共有し、政策提言をしていく。私にも関わることの多い。私にも関わることの多い。私にも関わることの多い。

第一に、困窮問題の広がりにどう対処するか、また合意ができていない地域も多い。問題が顕在化したとき、対応する行政力がなく、対応する行政力がなく、対応する行政力がなく。

宮本 太郎

「新法の財源は生活保護を削って確保せよ」という議論も現れている。母性世帯など困窮層の多くはじっと耐えて声を上げないが、子どもの貧困などは放置すれば地域の困難を増幅させる。自立支援は地域持続のための社会的投資でもある。

第二に、同法が指すのは福祉と雇用の連携であるが、多くの自治体では両部署のつながりがほとんどない。これまで福祉とは働けない人たちのための雇用とは働ける必要があったからだ。だが適切な支援さえあれば働ける人も増えている。多様な人が働けるための場と支援のかたちを創るため、各部署の壁を超えねばならない。

地域にこの問題に取り組む合意を形成し、制度条件を整備して初めて新法が生きていく。そのための政策提言やコーディネート・育成を目指す新団体に期待したい。

生活困窮者自立支援法を生かすために

2014.11.8

第10分科会

障がいのある人々が共に作り出す共生社会

☆テーマ☆
障がいを持つ当事者が主体となり、ともに支え合い、社会参加する地域づくりを目指すために、社会全体で相互に人格と個性を尊重し合う共生社会づくりを考える。

2014/11/23(SUN)
10:00~15:30
@ 西鉄イン福岡
福岡市中央区天神1丁目16-1
TEL 092-712-5858

プログラム

「希望さん」になるワールドカフェ

障がいのある人ない人が、障がい者が積極的に参加できる社会について、悩みやヒントを語り合い、社会を変えるキックオフにする。

ワールドカフェとは?
メンバーの組み合わせを変えながら、4~5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。

パネリスト

- 宮本太郎 (NPO法人共同代表 抱樸の代表)
- 大田 孝 (NPO法人環境未来センター 理事)
- 梶原 昌子 (福岡県高齢者福祉生活協同組合 ひまわりケアホーム)
- 金田 智也 (社会福祉法人くまもと障害者労働センター 代表)
- 越前 昭美 (ワーカーズコープ・センター 事業部長 福岡県福祉事業所 代表)
- 永野 三智 (一般財団法人 水俣病センター 代表)

【お申し込み・お問い合わせ先】
実行委員会事務局
〒812-0043 福岡市博多区聖地4丁目1-12 興井ビル2F21号 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター 事務局九州沖縄事業本部内
TEL:092-441-7587 FAX:092-441-8281 E-MAIL:kusu-event@roukyou.jp

いま協同が創る2014全国集会

in九州・沖縄 <第11分科会>

～働く喜び、生きる喜びを
地域から創る協同労働の可能性～

生命をすり減らす労働破壊、商品化、奴隷化を許さず！働く喜びや生きる喜びをもう一度考え、人間らしい労働の未来を創造するために何が必要なのか。市民が主体となって働く「協同労働」にも焦点をあてつつ、新しい働き方を考える。

と き 2014年11月23日(日) 10:00~15:30
と ころ 西鉄イン福岡 福岡市中央区天神1-16-1
TEL:092-712-5858

<タイムテーブル>

- 10:00 開会あいさつ、趣旨説明
大原 治 (福岡県労働者福祉協議会 顧問)
- 10:15 基調講演
山本 幸司 (労働者福祉中央協議会 副会長)
- 11:30 昼食休憩
- 12:30 パネルディスカッション
千葉 卓郎 (朝日新聞東京本社社会部記者)
大戸 はるみ (NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡 理事長)
高成田 健 (ワーカーズコープ・センター事業団 中四国本部長)
大藪 佐恵子 (農事組合法人モア・ハウス 代表)
【コーディネーター】
大高 研道 (聖学院大学経済学部 教授)
- 14:30 休憩
- 14:40 総括発表
山本 幸司 (労働者福祉中央協議会 副会長)
永戸 祐三 (日本労働者協同組合連合会 理事長)
大高 研道 (聖学院大学経済学部 教授)
- 15:30 閉会あいさつ

労働の破壊を許さず、 人間らしい労働の創造へ

<問い合わせ・申し込み先> 協同集会実行委員会事務局
〒812-0043 福岡市博多区聖地4丁目1-12 興井ビル2F21号
ワーカーズコープセンター事業団九州沖縄事業本部内
TEL 092-441-7587

第12分科会

市民の力で 自給・循環する地域づくりへ

～菜の花・BDF(バイオディーゼルの燃料)の取り組みが地域の未来を創る～

循環型社会について共に考えませんか?
私たちの暮らしや生活には様々な資源や力が存在しています。各地方では身近にある資源や力を出し合い、つなげていく取り組みが行われています。本分科会では菜の花BDF(バイオディーゼルの燃料)、生ごみ堆肥等の取り組みから市民の力で循環型社会の実現へ自給・循環する地域づくりとは?を考えていきたいと思っています。

4 基調講演 「新たな地域資源循環システムの創造と仕事おこしを考える」
末松 広行(すまつひろゆき)氏 関東農政局長
埼玉県出身、東京大学法学部卒、農林水産省入省後、大臣秘書官等を経て、食品流通局食品課長、総務官(内閣府)、環境政策部長、企画調整部長、農林水産省副大臣、農林省長、林野庁長官を経て現職。著書は「脱消費社会」「食の未来」「食の未来」など。東京農業大学、筑波大学客員教授、地域活性化学会理事。

4 パネルディスカッション

<p>パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大田 孝(おた だかし)氏 農事組合法人 濃雲舎 代表理事 ◎福田 俊明(ふくだ としあき)氏 NPO法人伊万里はらがめプラン 理事長 佐賀大学農学部 農研研究員 	<ul style="list-style-type: none"> ◎たいら 由以子(たいら ゆいこ)氏 循環生活研究所 理事長 ◎石井 大介(いし い だいすけ)氏 無住 亮輔(らうすけ) 理事長 ワーカーズコープセンター事業団九州沖縄事業本部 代表理事
<p>コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎田中 淳夫(たなか あつお)氏 農業生産法人 株式会社畑田ミツバチ 代表取締役社長 	<p>コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高田 幸好(たかた ちかよし)氏 一般社団法人 日本社会連帯機構 事務局長

開催日時：2014年11月23日(日)10:00~15:30
開催場所：エルガーホール 7F 中ホールA

問い合わせ ワーカーズコープ九州沖縄事業本部 第12分科会 担当：濱崎(はまさき)氏
住所：福岡市博多区聖地4-1-12 TEL:092-441-7587
FAX:092-441-8281 E-mail:kusu-event@roukyou.jp